

富県戦略に対するみやぎ工業会の取り組み

平成19年11月16日

みやぎ工業会 政策委員会

1、基本姿勢

宮城県の将来ビジョン「富県戦略」に賛同し、「活力と安らぎの邦づくり」実現のためのメインプレイヤーとして、産・学・官と連携、共創しながら、戦略実現のフロントランナーとしてその期待に応え、役割を担っていく事を意思決定しました。（6月開催理事会）

加えて同戦略実現に対する協議実行過程において、行政（県庁）手法・内容への企業サイドから見た、考え方や方法論の「気づき」を、様々な場で「政策」として提言・提供をさせていただきます。

2、取り組み内容

（1）政策委員会の拡充

①政策研究会を正規の委員会に格上げ（6月）

- ・富県戦略への対応力強化
- ・政策委員会のミッションの決定と今後の具体的活動事項を集中協議中（月一回の頻度で委員会開催）

②委員構成の充実

- ・若手、地域バランスを考慮した増員

- ・協議の「現実性と充実度及び他団体諸機関との連携強化」を高めるために、産業振興行政の推進役で責任ある方々をオブザーバーとして参加要請

経済商工観光部 新産業振興課 正木課長

みやぎ産業振興機構 阿部副理事長

宮城県産業技術総合センター 佐藤副所長

宮城県中小企業団体連合会 羽根田事務局長

(2) 富県戦略に呼応した具体的活動事項の協議と実践

①産業振興行政関連幹部との意見交換会の定期開催を企画

②富県宮城実現への行動計画に対する、工業会対象分野の絞り込みと具体的実施事項の協議・推進（現在意見聴取、整理分析中）

a. 育成、誘致による県内製造業の集積促進

b. アジアに開かれた広域経済圏の形成

c. 産業競争力の強化に向けた条件整備

③仕事創りを目指し、行動する工業会

a. CDクラス会員（37社）の企業実態調査の分析と課題認識

b. 会員企業の発注現況の深堀調査と地元発注（地産地消）増強への具体策検討（資材・購買調達状況調査企画中）

c. 誘致企業とのビジネスマッチング協議の推進

- ・東京エレクトロン関係者との事前協議（10月18日）
- ・東京エレクトロンと工業会のビジネス協議（12月12日）

（3）産学連携の強化

- ①工業会会員の産学連携の現状調査と連携強化策の協議（進行中）
- ②東北大学産学連携推進本部との連携策の協議（10月24日）
- ③産学連携成功・失敗事例から学ぶ、連携ノウハウ整備と会員企業への落とし込み（現在方法論検討中）

（4）東北経済産業局（国の施策）との連携強化

- ①同局長を囲む定期懇談会の開催：年2回企画（11月12日）
- ②経済産業省の産業振興策の活用推進策の検討

3、現時点で絞り込んだ工業会として検討課題（第一次）

（1）交流推進委員会

- ①産学官連携の加速、促進策の検討

（2）経営基盤委員会

- ②産業人材の確保と育成策の検討

（3）政策委員会

- ③産学連携の成功、失敗事例から学ぶ企業座談会の企画
- ④既存企業の県内調達率拡大に向けたイベントの企画
- ⑤誘致企業の県内調達率拡大に向けたイベントの企画

⑥工業部門の「みやぎブランド」創設提案

⑦産産連携（技術市場交流プラザ）の場作り

4、現時点で絞り込まれた提案内容（第一次）

- (1) 産学官連携スタートファンド（助成金）の設立
- (2) 「KCみやぎ」の産学連携視点からの活用推進策
- (3) 産学官交流大会の他イベント・フェアとのドッキング開催
- (4) 産業人材育成プロジェクトへの資金・マンパワー支援
- (5) 既存・誘致企業県内調達拡大に向けた各種支援策
- (6) 「技術市場交流プラザ：PART II」発足提案
- (7) 宮城ブランド「モノ」確立に向けた検討協議会設置

5、提案事項の更なる具体化に向けた協議

- (1) 県経済商工観光部長との政策委員会メンバーとの意見交換会：第一次
提案内容の説明会（10月31日）
- (2) 県経済商工観光部関連課署と政策委員会メンバーとの懇談会：第一次
提案内容の吟味と意見交換、可能性検討（11月12日）
- (3) 工業会関連委員会での提案内容の更なる深堀
 - ①交流推進委員会（11月15日）
 - ②政策委員会（11月28日）

以 上

